

2021年度 第3四半期 決算説明資料

2022年2月9日

リンナイ株式会社

Rinnai

1. 2021年度 第3四半期 実績

2. 2021年度 通期 見通し

2021年度 第3四半期 連結決算要点

売上高 : 2737.6億円 (前期比: +11.5%)

中国やアメリカを中心に海外が伸長も、部品調達の逼迫に伴う販売減少により増収幅縮小

過去最高

営業利益 : 280.4億円 (前期比: +0.9% 利益率: 10.2%)

国内販売の減少に加え、材料価格や物流費の高騰が続き、増益ながらも減速

過去最高

経常利益 : 304.0億円 (前期比: +5.3% 利益率: 11.1%)

営業増益に伴い増益

過去最高

親会社株主に帰属する

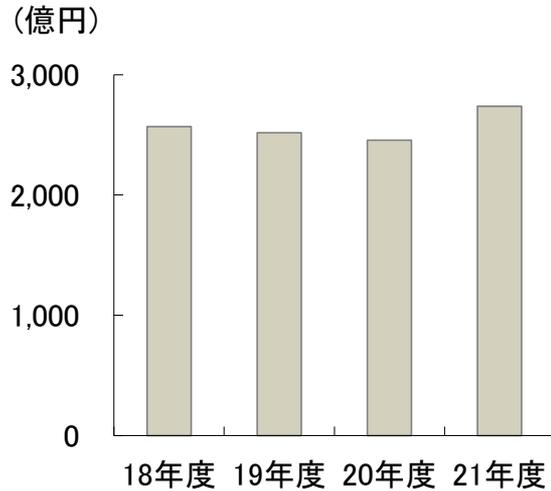
四半期純利益 : 183.6億円 (前期比: Δ 5.0% 利益率: 6.7%)

経常増益も、前期に投資有価証券売却益(14.4億円)を計上したことから減益

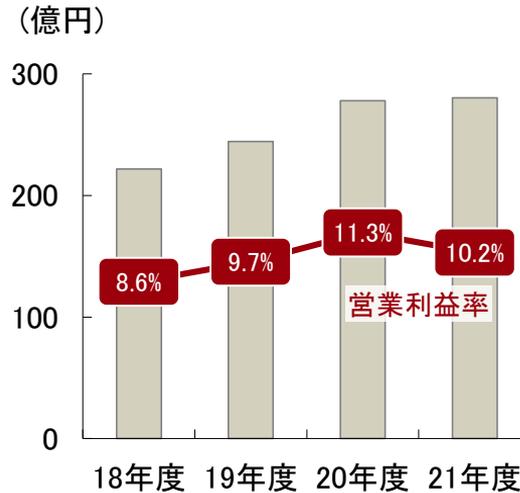
- ・売上高、営業利益、経常利益は過去最高を更新も第2四半期から大幅に減速
- ・第3四半期以降、部品調達逼迫による影響度が拡大。通期業績予想を修正へ

連結業績推移(第3四半期)

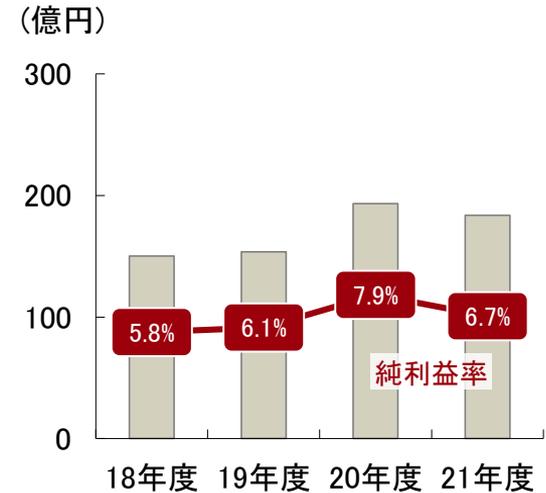
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する 四半期純利益



- ・売上高は国内販売が減少する中、海外が伸長し3期振りの増収。過去最高を更新
- ・営業利益は過去最高更新も、販売減や原材料等のコスト増を受け利益率は低下

2021年度 第3四半期 機器別売上高の内訳

[単位:億円]

機器別	2020年度		2021年度		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
給湯	1352.6	55.1%	1571.4	57.4%	+218.8	+16.2%
厨房	664.7	27.1%	645.4	23.6%	△19.2	△2.9%
空調	142.5	5.8%	167.9	6.1%	+25.3	+17.8%
業用	56.6	2.3%	65.7	2.4%	+9.0	+16.0%
その他	238.4	9.7%	287.0	10.5%	+48.6	+20.4%
合 計	2455.0	100.0%	2737.6	100.0%	+282.5	+11.5%

2021年度 第3四半期 連結損益実績内訳

[単位: 億円]

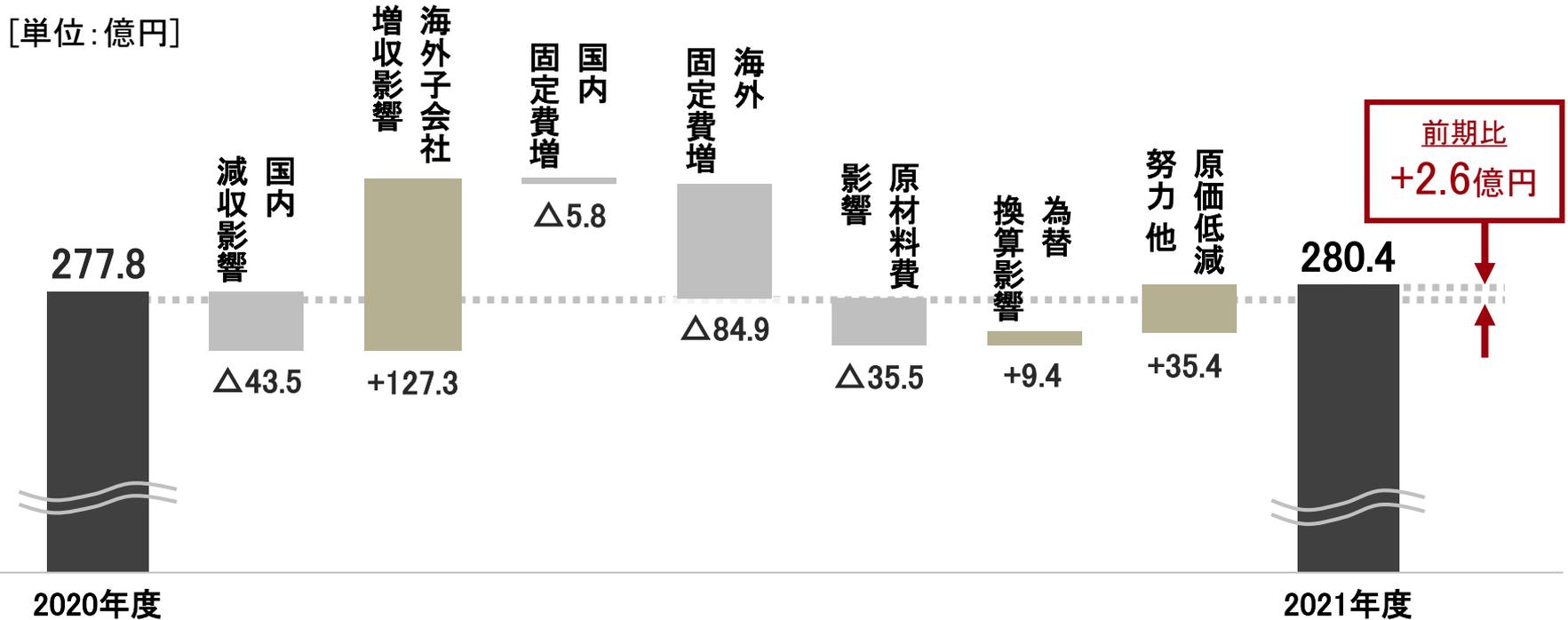
	売上高	前期比 増減率	営業利益	前期比 増減率	営業利益率	前期比 増減率
連結	2737.6	+11.5%	280.4	+0.9%	10.2%	△1.1pt



	売上高	前期比 増減率	営業利益	前期比 増減率	営業利益率	前期比 増減率
リンナイ	1548.2	△0.8%	112.0	△25.9%	7.2%	△2.5pt
国内関連	728.1	△4.1%	20.7	△32.3%	2.8%	△1.2pt
海外関連	1531.3	+30.2%	146.6	+63.6%	9.6%	+2.0pt
合計	3807.6	+8.9%	279.4	+2.9%	7.3%	△0.4pt

2021年度 第3四半期 連結営業利益分析

[単位: 億円]



部品調達逼迫による販売減少や原材料価格・物流費の高騰を受け、増益幅縮小

リンナイ単体 2021年度 第3四半期 実績

- 部品調達の逼迫により主力商品の販売が大きく減少
- 原材料価格や物流費の高騰が続き、利益面を下押し
- 10月以降 業績の減速感が強まり減収減益



ビルトインコンロ



ハイブリッド給湯器



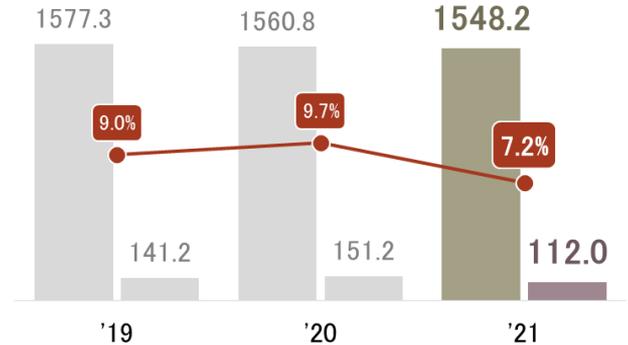
ガス衣類乾燥機



食器洗い乾燥機

(億円)	2020年度	2021年度	前期比増減率
売上高	1560.8	1548.2	△0.8%
営業利益	151.2	112.0	△25.9%
営業利益率	9.7%	7.2%	△2.5pt

リンナイ単体 第3四半期 実績
 ■:売上高 ■:営業利益 ●:営業利益率 (単位:億円)

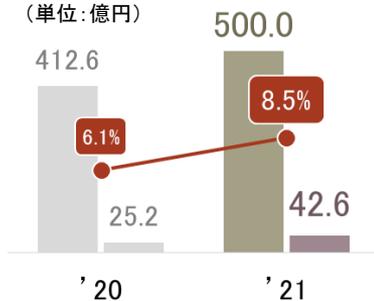


(販売台数:国内)	前期比増減率
給湯暖房機	△12.8%
ふろ給湯器	△7.6%
ビルトインコンロ	△9.0%
ガス衣類乾燥機	+8.2%

リンナイ単体 2021年度 四半期別 実績比較

第1四半期(4-6月)

■:売上高 ■:営業利益 ●:営業利益率
(単位:億円)



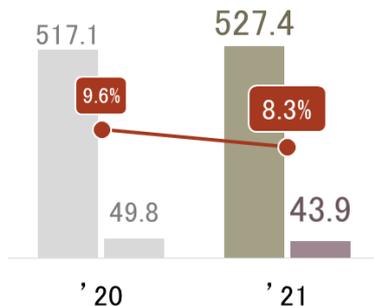
2021年度

- ・高付加価値商品が伸長
- ・原材料価格、物流費高騰

2020年度

- ・緊急事態宣言下の活動制限

第2単四半期(7-9月)



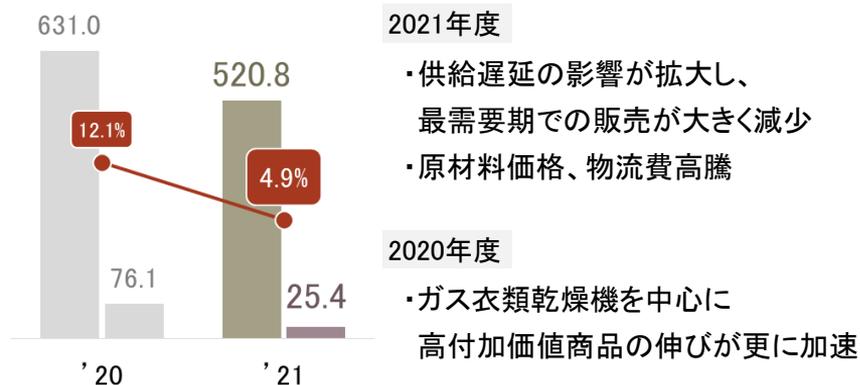
2021年度

- ・7月以降、部品調達逼迫による供給遅延が発生
- ・原材料価格、物流費高騰

2020年度

- ・住宅設備の更新需要が高まり、厨房機器、ガス衣類乾燥機が好調

第3単四半期(10-12月)



2021年度

- ・供給遅延の影響が拡大し、最需要期での販売が大きく減少
- ・原材料価格、物流費高騰

2020年度

- ・ガス衣類乾燥機を中心に高付加価値商品の伸びが更に加速

■ 供給遅延への足元の対策状況

- ・リンナイグループ全社連携によるグローバル調達
- ・汎用部品、類似部品への設計変更
- ・逼迫部品の内製化(各工場での部品組付け対応) など

リンナイ単体 トピック

無水調理鍋「Leggiero (レジェロ)」



Leggiero

発売日 2022年2月1日

希望小売価格(税抜) 2.3万円/2.5万円



無水調理



オープン風調理



蒸し調理



煮る調理

■ 優れた調理性能とお手入れ性

高品位アルミ鋳物を採用することで
優れた調理性能を発揮しつつ、
鉄鋳物製の半分以下まで軽量化



■ 一つの鍋で多彩な調理に対応

無水調理に加え、蒸し調理、煮る料理、
コンロ上でのオープン風調理に対応

■ おいしい料理を毎日手間なく

ガスコンロの便利機能(タイマー等)や、
専用アプリ「+R RECIPE」を活用した
「Leggiero」専用レシピを紹介



リンナイ単体トピック

浴室暖房乾燥機「C4101シリーズ」



発売日 2021年10月1日

希望小売価格(税抜) スタンダードタイプ(RBH): 12.4万円~16.2万円

スプラッシュミストタイプ(RBHM): 24.0万円~25.9万円

■ 人感センサー・温度センサーによる安心暖房

人感センサーと温度センサーを搭載し、浴室内の人の動きや温度を感知し、業界初の自動で最適な暖房運転を実施
寒い日も快適に室温を保ち、安心の入浴をサポート

■ カビガードミスト ※RBHMシリーズのみ

2週間に1回の「カビガードミスト」運転で浴室内のカビの成長を99.9%抑制(当社調べ)。浴槽を清潔に保ち、お風呂掃除の負担も軽減することでラク家事に貢献

※ カビガードミストは東邦ガス株式会社との共同開発

■ スタイリッシュなリモコン・音声サポート機能を追加

フラットでスクエアなフォルムでシンプルさと機能性を両立
音声サポート機能の追加と大画面化で操作性と視認性を向上



 **GOOD DESIGN
AWARD 2021**

2021年度グッドデザイン賞受賞
(浴室暖房乾燥機リモコン)

リンナイアメリカ 2021年度 第3四半期 実績

- ・タンクレス給湯器への旺盛な需要は引き続き継続傾向
- ・部品調達の逼迫により、日本からの供給に不安定さが続く
- ・アメリカ国内の輸送費、人件費等のコストアップを販売増で吸収し、増益



高効率ガス給湯器

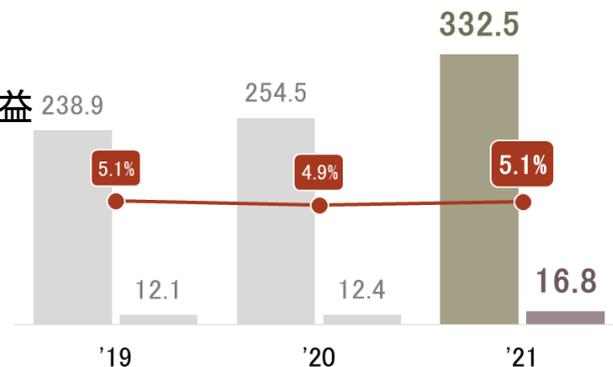


高効率ボイラー

(億円)	2020年度	2021年度	前期比増減率	
			円貨	現地通貨
売上高	254.5	332.5	+30.6%	+29.3%
営業利益	12.4	16.8	+35.0%	+33.7%
営業利益率	4.9%	5.1%	+0.2pt	

リンナイアメリカ 第3四半期 実績

■:売上高 ■:営業利益 ●:営業利益率 (単位:億円)



(販売台数)

前期比増減率

タンクレス給湯器

+23.8%

内)高効率タイプ

+24.0%

リンナイアメリカトピック

新工場(グリフィン工場) 建設状況

- ・ 海上輸送の混雑により、日本からの設備が延着する等、若干の遅れが発生するものの、概ね計画線上で進捗
- ・ 現地需要の拡大を受け、更なる生産能力の増強を推進



グリフィン工場 外観

グリフィン工場 概要

所在地 ジョージア州 グリフィン市

完成 2022年3月

生産能力 34万台/年(今秋以降)

※現状:10万台/年(リース工場)



ガスタンクレス給湯器



完成イメージ

上海林内 2021年度 第3四半期 実績

- インターネット、実店舗販売とも主力商品の販売好調が続く

-(1-9月) インターネット販売 金額前期比 +35.3%、構成比率 27.5% (前期比 Δ0.0pt)

- 原材料価格高騰の中、高付加価値商品の伸長により収益性向上



給湯器



ビルトインコンロ



レンジフード



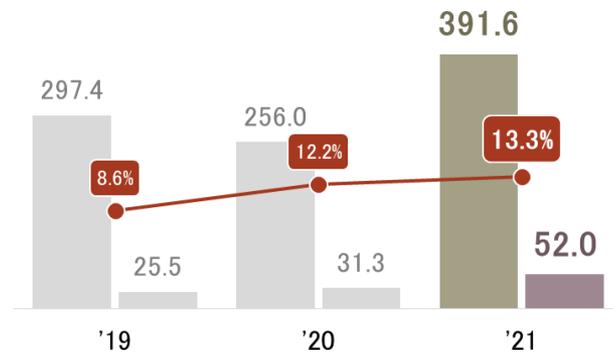
ボイラー

(億円)

	2020年度	2021年度	前期比増減率	
			円貨	現地通貨
売上高	256.0	391.6	+52.9%	+40.0%
営業利益	31.3	52.0	+66.1%	+52.0%
営業利益率	12.2%	13.3%	+1.1pt	

上海林内 第3四半期 実績

■: 売上高 ■: 営業利益 ●: 営業利益率 (単位: 億円)



(販売台数)

	前期比増減率
給湯器	+38.9%
ビルトインコンロ	Δ5.3%
レンジフード	Δ0.6%
ボイラー	+75.2%

リンナイオーストラリア 2021年度 第3四半期 実績

- 部品調達の影響でタンクレス給湯器が弱含むも、暖房機器は堅調
- 物流費が高止まりする中、生産性の改善や合理化の推進に加え、
現地通貨高の影響もあり増益



タンクレス給湯器



電気タンク式給湯器

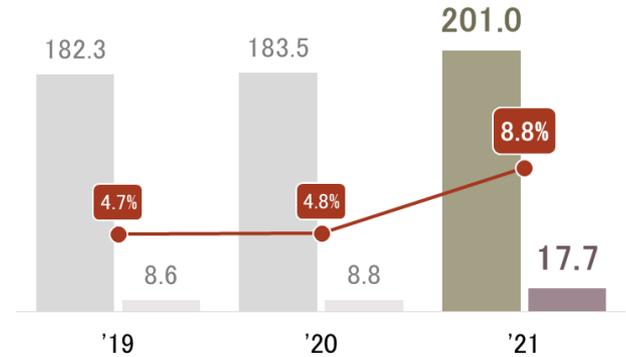


ダクト式冷暖房システム

(億円)	2020年度	2021年度	前期比増減率	
			円貨	現地通貨
売上高	183.5	201.0	+9.5%	△2.4%
営業利益	8.8	17.7	+101.5%	+79.6%
営業利益率	4.8%	8.8%	+4.0pt	

リンナイオーストラリア 第3四半期 実績

■:売上高 ■:営業利益 ●:営業利益率 (単位:億円)



(販売台数)

	前期比増減率
開放型暖房機	+23.2%
業務用空調機	+11.4%
ダクト式冷暖房システム	△3.8%

リンナイ코리아 2021年度 第3四半期 実績

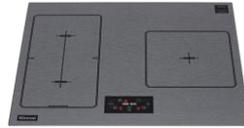
- 親環境ボイラー販売が引き続き好調
- コンロ販売は前年需要が好調だったこともあり、前年比で弱含み
- 経営改善活動(原価低減、新製品投入 等)により、収益性が向上



親環境ボイラー



ガスコンロ

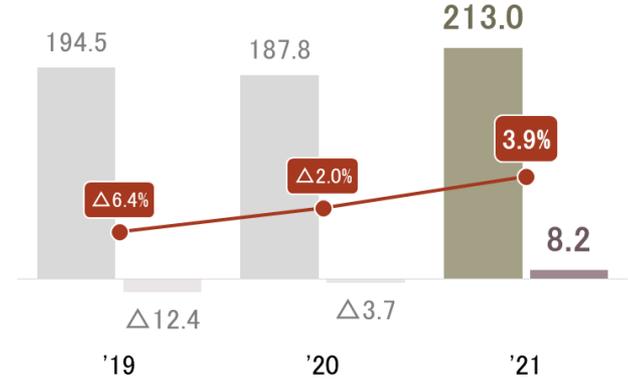


電気コンロ

(億円)	2020年度	2021年度	前期比増減率	
			円貨	現地通貨
売上高	187.8	213.0	+13.4%	+6.2%
営業利益	△3.7	8.2	-	-
営業利益率	△2.0%	3.9%	-	-

リンナイ코리아 第3四半期 実績

■:売上高 ■:営業利益 ●:営業利益率 (単位:億円)



(販売台数)

前期比増減率

ボイラー	+2.0%
ガスコンロ	△11.0%
電気コンロ	△20.2%

リンナイインドネシア 2021年度 第3四半期 実績

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う社会活動制限により、テーブルコンロ販売が弱含むも、ビルトイン商材は好調が続く
- 原材料価格、物流費高騰の中、高付加価値商品が伸び、増益



テーブルコンロ



ビルトインコンロ

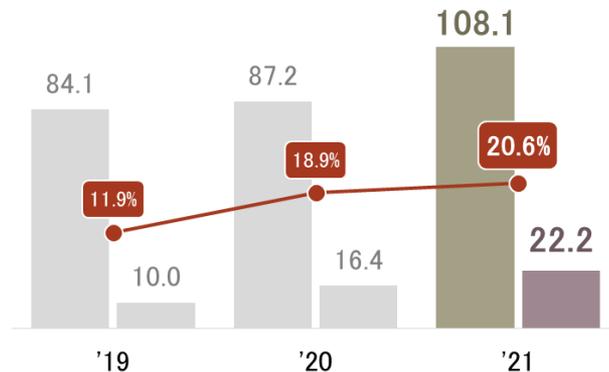


レンジフード

(億円)	2020年度	2021年度	前期比増減率	
			円貨	現地通貨
売上高	87.2	108.1	+24.0%	+20.2%
営業利益	16.4	22.2	+35.3%	+31.0%
営業利益率	18.9%	20.6%	+1.7pt	

リンナイインドネシア 第3四半期 実績

■:売上高 ■:営業利益 -●-:営業利益率 (単位:億円)

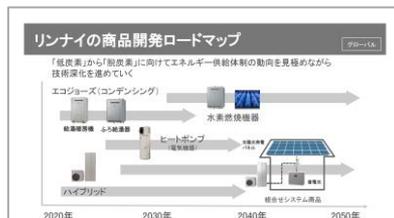


(販売台数)	前期比増減率
テーブルコンロ	+7.7%
ビルトインコンロ	+58.3%
レンジフード	+128.1%

地球環境への貢献

■ カーボンニュートラル実現に向けた長期方針

2021年11月5日にカーボンニュートラル実現に向けた
長期企業方針「RIM 2050」を発表
今後の低炭素社会/脱炭素社会において
リンナイグループが果たす役割、貢献を定義し、
戦略および目標値を策定



■ 寒冷地向けハイブリッド冷暖房・給湯システム

冷房・給湯・暖房を1つのシステムで対応する
「寒冷地向けハイブリッド冷暖房・給湯システム*」の
高い快適性、省エネ性、経済性、環境性が
評価され、各賞を受賞

* リンナイ株式会社、株式会社コロナ、
エア・ウォーター北海道株式会社の3社で共同開発



(3社での共同受賞)

2021年度 北海道省エネルギー・新エネルギー促進大賞

「省エネルギー部門大賞」受賞

2021年度 省エネ大賞 製品・ビジネスモデル部門

「省エネルギーセンター会長賞」受賞

2021年度 経済産業省北海道経済産業局 北の国省エネ・新エネ大賞

優秀賞 受賞



各リスク要因と業績への影響度

主なリスク要因

- ・原材料価格、物流費の高騰
- ・国際物流の混乱
- ・部品調達の逼迫による供給遅延
- ・新型コロナウイルス感染症

日本

- ・7月より部品調達の逼迫による供給遅延が発生
- ・10月以降、逼迫度が更に上昇。国内輸出とも販売が急減

アメリカ

- ・期初から港湾の混雑やコンテナ不足により、注文残が発生
- ・日本からの供給遅延の影響が大きく、注文残解消に至らず

オーストラリア

- ・日本からの供給遅延でタンクレス給湯器販売が弱含む
- ・感染拡大に伴うロックダウンで新築、業務用販売に影響

中国

- ・原材料価格の高騰により、利益率が伸び悩む
- ・電力制限による調達懸念があるものの、現状影響は限定的

韓国

- ・原材料価格の高騰により、利益率が伸び悩む
- ・部品調達に逼迫感はあるが、現状影響は限定的

インドネシア

- ・感染拡大による社会活動制限で現地での販売に影響
- ・鉄鋼価格/物流費の上昇がコストアップ要因に

第3四半期累計期間における業績への影響度



1. 2021年度 第3四半期 実績

2. 2021年度 通期 見通し

2021年度 通期 連結業績予想 修正

[単位:億円]	前回発表 予想(A)	今回発表 予想(B)	増減額	増減率	前期実績	(参考) 前年比
売上高	3650	3650	-	-	3443	+6.0%
営業利益	410	350	△60	△14.6%	406	△14.0%
経常利益	420	380	△40	△9.5%	424	△10.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	260	225	△35	△13.5%	275	△18.4%

- ・第3四半期以降、日本を中心に部品調達の逼迫による販売影響が拡大
- ・原材料価格や物流費も年度を通じて高騰が続き、利益面を下押しする見通し

本資料に掲載されております業績予想や将来予想は、現時点において入手可能な情報に基づき当社が判断して予想したものであり、実際の業績は今後様々な要因の変化により予想とは異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。